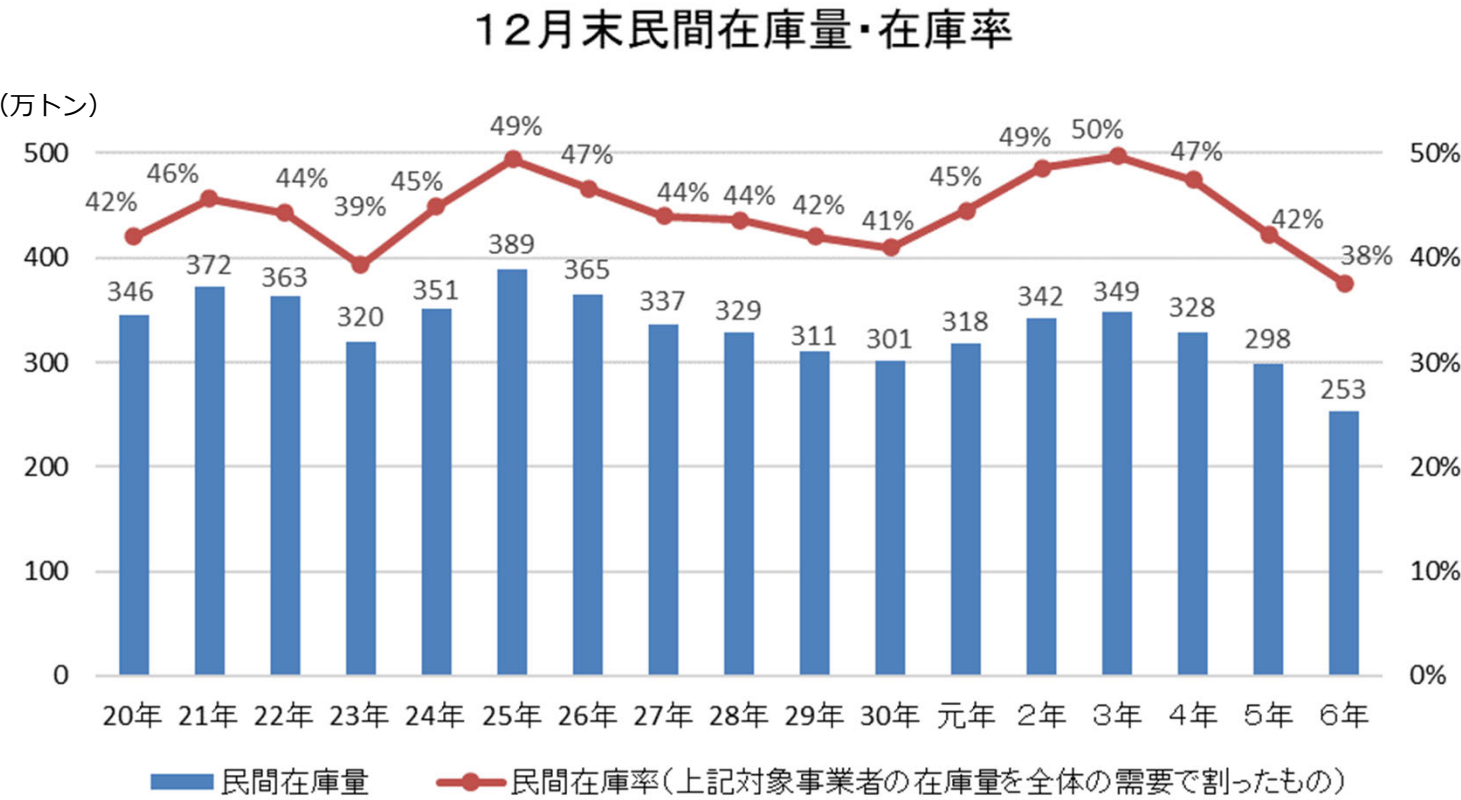


令和6年12月末民間在庫量のポイント

- 毎月公表している民間在庫量は、①500トン以上の集荷業者、②4,000トン以上の卸売業者が対象。およそ民間の流通在庫全体の75%をカバー(別紙参照)。
- 令和6年11月末の民間在庫量は、12月末在庫としては近年では最も低い水準の253万トン。
- これについては、令和6年産の生産量(12月10日公表)が679万トンと前年産より18万トン多い中で、出荷段階で対前年差▲48万トン、販売段階で同+4万トンとなっていることを踏まえれば、報告対象となっている集荷業者の集荷が前年に比べ減少していることが主な要因と考えられる。

※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。

○ 出荷・販売段階別の民間在庫量

(単位: 万トン)

	5年12月末	6年12月末
出荷段階	246	197
対前年差	▲ 31	▲ 48
販売段階	52	56
対前年差	0	+4
合 計	298	253
対前年差	▲ 31	▲ 44

※出荷段階は玄米仕入数量が500ト以上の集荷業者等
販売段階は玄米仕入数量が4,000ト以上の卸売業者等

○ 集荷業者の集荷数量

(単位: 万トン)

	集荷数量	前年比
6年12月末	215.7	91%
5年12月末	236.3	95%
対前年差	▲ 20.6	-

※集荷数量は販売数量が5,000ト以上の集荷業者等

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲

	出荷段階	販売段階		生産段階
	年間取扱 500トン以上	年間取扱 4,000トン以上	年間取扱 500～ 4,000トン	
うるち米	【毎月調査ベース】 6月末在庫 115万トン ➡ 12月末在庫 253万トン (対前年▲44万トン) 6月末 84万トン ↓ 12月末 197万トン (対前年▲48万トン) 6月末 31万トン ↓ 12月末 56万トン (対前年+4万トン)			
もち米				

【米の基本指針ベース】
153万トン
(※ 6月末のみ調査)